

女子中高生夏の学校 2022

～科学・技術・人との出会い～

参加報告

「夏学」は全国の女子中高生を対象としたキャリア教育プログラムで、女子中高生が科学技術に触れ、同分野で活躍する女性や仲間と共に将来を考える機会を提供するものです。

学生たちはロールモデル（理工系で活躍する幅広い分野の研究者・技術者の方々）と様々なプログラムを通じて触れ合い、仕事内容やその職に就くまでの経緯、日常生活などの話を聞いたり、質問や相談もすることができます。最終日まで自分のキャリアプランを仕上げてみるのが夏学の目標のひとつです。

今年の夏学は8月7日～8日の日程でオンライン開催され、26都道府県から115名の女子中高生が参加しました。夏学ではプログラムの一環として協力団体の研究者・技術者による実験・ポスター発表・キャリア相談などを実施しており、男女共同参画学協会連絡会を通じて加盟学会へも参加募集が行われました。分子生物学会では全会員に呼びかけ、有志の方にご協力いただきました。

**〈ポスター・キャリア相談
「研究者・技術者と話そう」〉**

～分子生物学の例①～
ウイルスを調べる分子生物学的手法

- 他にも目に見えないウイルスの様子を理解するために用いられる分子生物学的手法はたくさんあります。
- みなさんも聞いたことがあると思いますが、PCRを使うとウイルスのゲノム(DNAやRNA)を増幅できます。ウイルスがいるか、いないか、どれくらいの数いるかなど正確に調べられます。
- ウイルスタンパク質を調べることも有効です。ウエスタンブロッティング、ELISAなど様々な方法がありますが、いずれも抗体を使ってウイルスを検出します。抗体は元々体内に入ってきた異物に対する防御反応として作られますが、分子生物学では重要なツールとして活用されます。
- これらの技術の多くは分子生物学の進歩によって確立されました。

PCRで増幅したDNAの電気泳動像

抗体

「生命現象を分子レベルで理解する
～あるウイルス研究者夫婦の試み」

女子中高生の皆様へ

- 医学・理学・農学・水産学・工学など様々な分野の研究者が所属しているので、ご自身の興味のある分野を選ぶと良いでしょう。
- 論文作成にはかなりの時間を費やします。作文能力と英語力が必要です。意識して学習しておくことで将来プラスになります。
- Mieが留学したスペインの研究施設では、女性研究者が6割でした(体感)。それに比べ、日本の女性研究者の比率は2割くらいにしかありません。秘書さん・技術員さんなど、研究現場を支えているスタッフは女性が多く、楽しく仕事ができます。また、所属先によってはフレックスな働き方ができるのが研究者の魅力です。あなたの知的好奇心を活かして、研究の道に進みませんか？

資格取得や視野を広げるために大学では獣医学科に進学して獣医師の資格を取得しましたが研究者になりたい気持ちは変わらず博士課程へ進学しました

小林 郷介 会員 (都医学研)

実は研究者ってパートナーも研究者という人が結構多いです母子での留学を経験しました現在はワーキングマザーに関するさまざまな問題を体験中

小林 美栄 会員 (慶應大)

発表スライド提供(2点)：小林美栄・小林郷介
写真提供(2点)：特定非営利活動法人 女子中高生理工学キャリアパスプロジェクト

夏学実行委員会は、研究者・技術者に加え、高校・高専教員や、中高生の頃夏学に参加した夏学OGの大学生など、多種多様なメンバーで構成されています。分子生物学会会員として夏学にご協力くださったことがきっかけでこの活動を支え続けていらっしゃる方々もおられます。

会員の皆様、募集の際には多くのお申し出をいただき、ありがとうございました！

日本分子生物学会キャリアパス委員会